

【添付資料：実証実験の流れ】

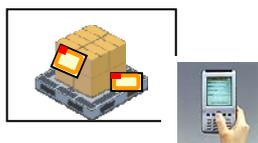
(1) 産地（2ヶ所）

出荷情報をもとに UHF 帯 IC タグを作成、品物に貼付し、卸売市場へ出荷します。UHF 帯 IC タグは、容器（段ボール箱または通い容器）と容器を載せるパレットの両方に貼付されます。



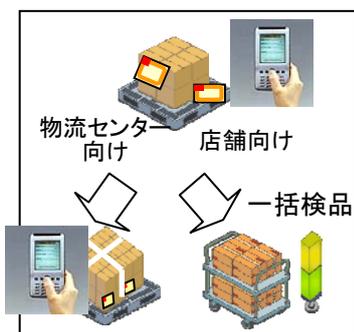
(2) 卸売市場（卸売業者 1 社）

品物が卸売市場に到着すると、卸売業者は物流端末(注)を使用し、パレットに貼付されている UHF 帯 IC タグの情報を読み取り、あらかじめ産地から送られている送り状の情報を参照し検品を行います。卸売業者が検品を完了すると、仲卸業者の携帯電話に品物の入荷情報と置場情報がサーバからメール送信されます。



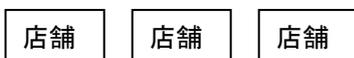
(3) 卸売市場（仲卸業者 3 社）

仲卸業者は、注文した品物の到着と置場をメールにより確認し、品物の検品、引き取りを行います。引き取った品物は、店舗向けおよび量販店物流センター向けに仕分け、出荷されます。店舗向け出荷分はカゴ車に搭載され、UHF 帯 IC タグを活用し一括検品が行われます。



(4) 物流センター（量販店 2 社）

物流センターに納入された品物は検品後、店舗向けに仕分けされ、UHF 帯 IC タグを活用した一括検品が行われ、各店舗に出荷されます。



(注) 物流端末：卸売市場、物流センターで検品に使用される物流端末は、検品情報のほか、流通履歴情報、輸送中の温湿度情報を確認することが可能。